

第一回 学校運営協議会

日時：令和元年7月11日（木）

場所：イングリッシュルーム

参加者：校長 副校長 小野田 永島 中島 小川 市川 伊藤 志村 小田

1. 三小の概要説明 校長

コミュニティスクール元年、錦町の識者にお集まりいただきありがとうございます。

学校経営方針の承認を頂けるよう説明します。

来年度の方針もお伝えします。これについては皆さんの意見もうかがいたい。

三小は、今年で83年になります。

二年生は77名で3クラスです。来年度はこのままだと2クラスになってしまいます。来年度、新一年生が4クラスになる可能性が大である。19学級以上になると教室が足りなくなります。そのため、他学区からの受け入れはストップしようとしています。

「グローバル時代を生きる知徳体のバランスの取れた子供の育成」を目指しています。外国との交流を積極的に進めています。

オーストラリアの児童とビデオチャットで交流しました。英語で通じ合えた体験は非常に有意義なものだった。ニュージーランドの子供たちとのビデオチャット最中に地震があったことも印象的でした。

中国の児童との交流では、英語であいさつして通じたことがうれしいようでした。中国の児童も英語の学習が進んでいると感じました。中国では白湯にして水を飲むため、水道水は不評だったことなども文化の違いが分かり学びになりました。

ヤングアメリカンの取り組みでは、武蔵村山の実践を見てきました。積極的に物事に取り組むことや自分自身を表現することができるようになる優れた取り組みです。40名のスタッフを迎え、立飛のバックアップで行うことができます。

学校教育の方針について皆さんからご意見をいただいたり、承認していただいたりしながら、より良い教育を行いたいと思っています。

子どもをど真ん中において教育を行っています。

学力向上については学習時間をしっかりとることを大切にしています。夏休み開始を一週間遅らせました。三小タイムでは朝学習に取り組んでいます。放課後のにここ教室を行っています。家庭学習については学年×10分を啓もうしています。授業については授業力スタンダード、学級力スタンダードを大切にしながら教育を行っています。他にも、体育スタンダードでは体育の授業の流れなど確認しながら進めています。国語の授業では国語辞典に付箋をつけながら語彙力を高める活動に取り組んでいます。

体力向上については、東京女子体育大学の教授に協力いただき授業の研究を進めています。学生さんも授業に入ったり研究会で共に学んだりしています。朝のわんぱくタイムで

は、楽しみながら体力をつけていこうとしています。体育の授業だけでなく、持久走タイム、縄跳びタイムを設けて、教員も一緒になって子供たちと運動に親しむようにしています。

特別支援教育については、関わる子が多い実態があります。個別の対応を必要としている児童もいて、教室に入ることができない児童もいます。生活経験が乏しく、箸が使えるようなケースもあります。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携して取り組んでいます。中国からの児童が増えてきており、通訳の協力も得ています。授業のユニバーサルデザインとして、教室前方にはカーテンを付けました。

特別活動では、縦割り半活動などに取り組んでいます。年間を通じて高学年が低学年の面倒を見ることができています。

市民科では、皆さんの力を貸していただきながら地域への愛着を持つ授業をしています。近隣の幼稚園、保育園との交流も行っています。富良野塾では昭和記念公園へ行って5年生が地球の歴史や環境の問題について体験しながら学んでいます。トヨタドライビングスクールの協力を得て交通安全教育も行っています。

オリパラ教育については都教育委員会から多くの予算をいただいています。秋山エリカさんをお招きし講演していただきました。他にも、車いすラグビーの選手をお招きして話を聞いたり、アルバルク東京の選手を招いて話を聞いたり、子供たちと一緒にバスケットをもらったりしています。チアリーディングのメンバーにも話を聞きました。ダブルダッチの元世界チャンピオンを招いて一緒にダブルダッチをしました。友達プロジェクトとしてベラルーシのことについて学ぶことになっています。給食でベラルーシ料理を作ってもらうなど世界のことについて学んでいます。

小中連携活動では、あいさつ運動を一緒に行ったり、授業観察を行ったりしています。

保護者・地域との連携では大変お世話になっています。運動会のネットを張る活動など教員と地域の力を合わせてよいものができました。

2. 運動会について

暑さ対策、サンシェード、水をかける、廊下の開放

深夜の場所取りについては是非を考えたい。

⇒PTAの中で並ぶのをやめられないかと話したが、何とか日陰に行きたいという思いが強い。お弁当前には体育館前に並ぶ。子供の競技そっちのけになる可能性もある。親子でお弁当を食べる思い出は大切にしたい。子供だけ昼食時教室に行くことは反対。苦情は今のところない。マナーよく並んでいる分には止められないのでは。お知らせであまり早くから並ぶことは遠慮いただきたいと一筆入れる。

午前中で運動会を終える学校もある。

団体競技をカットする、PTA 協議をカットする検討

⇒・団体競技なくすとますます個の動きが強調され、協調性やみんなで行う良さを感じられなくなるのは心配。

- ・お弁当がなくなるのはさみしい。思い出がなくなるのでは。
- ・低学年だけ帰す案もあるが、高学年を見て学ぶという面もあるのでは。
- ・人数が多いと時間がかかるので、低学年は早めに種目を終えて帰るのもありか。
- ・ボランティアを入れて競技間のロスタイムを減らす。
- ・協議を削って午前中に返すのは反対。
- ・表現や競技の時間を短くできないか。
- ・応援合戦は必要か。長く感じる。午前午後の一回ずつどちらかを削る？
- ・有給とって見に来たけど「これで終わり？」はさみしい。

組体操 危険なことはしていないが達成感をもてるように工夫した

皆さんの意見もいただきたい。

⇒やめる判断はあるか？

団体での表現はやってほしい。あまりにも危険なやつはやりすぎだが、危ないことを危なくないようにやる事が学びではないか。危険だからやめちゃえ、はどうなのか。

見せ方はいろいろある。教員が工夫をして行えばよい。以前から比べたら危険なことはしていない。今年くらいで程よいと思う。

徒競走 今年から男女混合で行ったがどうだったか。

⇒問題ないと思う。反対は1枚だけだった。小学生の間、男女差はさほどないので混合でもよいのではないか。続けてみて反応を見てもよいのではないか。

3. 学校経営方針について

「グローバル時代を生きる知徳体のバランスの取れた児童の育成」についてご意見をいただきたい。

⇒多文化共生については正しくとらえてやっていくのはいいと思う。差別のない社会をつくる、壁をなくすことが必要。

暗唱について

⇒できる子は褒めてあげたいが、できない子は心の中に劣等感を抱えることになるのではないか。

校長 やりたい人だけというスタンスです。ターゲットは1, 2年生がメインです。

再チャレンジもできるので、いいのでは。緊張しながらチャレンジすることもいいと思う。子どもをど真ん中に置く。いいことです。

4. 来年度の方向性について

土曜日、夏休みの扱いについて

今年度7月中いっぱい仕事をして8月からフリーにしている。

⇒この暑い中、夏休みを減らすことには賛成できない。

子供たちにとっても、夏休みに家庭の中で育つ機会を保障したほうがいいのでは。

保護者はいいかもしれないが、子供はどうなのか？

まだ、土曜日を増やすほうがいいのでは。